

第2回スピントロニクス国際ワークショップ The 2nd RIEC International Workshop on Spintronics -MgO-based Magnetic Tunnel Junctions-

開催日：平成19年2月15日（木曜日）～16日（金曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

→電気通信研究所国際シンポジウム、The 2nd RIEC International Workshop on Spintronics -MgO-based Magnetic Tunnel Junctions- (第2回スピントロニクス国際ワークショップ：MgO障壁磁気トンネル接合、主催責任者大野英男)が、平成19年2月15,16日の2日間にわたり、東北大学電気通信研究所ナノ・スピン実験施設で開催された。本ワークショップは、スピントロニクスにおけるキーテクノロジーの一つである巨大トンネル磁気抵抗効果とスピン注入磁化反転を示すMgO障壁磁気トンネル接合における最近の進展、デバイス応用への課題、ならびに関連する物理現象などを取り上げ、包括的に議論すべく企画されたものである。日本をはじめとして、アメリカ、イギリス、アイルランド、韓国からの18名の専門研究者が招待講演者として実験、理論、その応用への発展について最新の研究成果を紹介した。7ヶ国、100名を越える参加者によって極めて活発な討論と情報交換が行われた。



第2回スピントロニクス国際ワークショップ会場風景